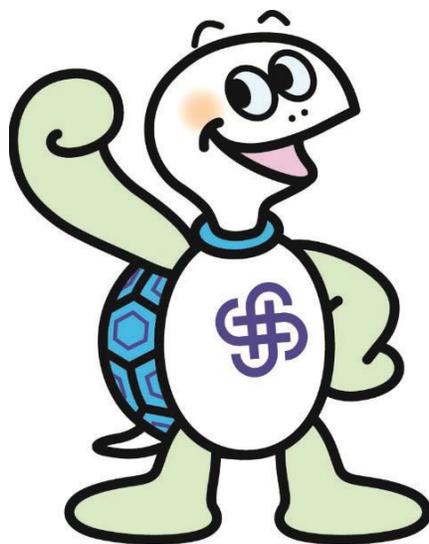


令和8年 第1回

区づくり推進横浜市会議員会議

会 議 資 料



令和8年2月6日

神 奈 川 区

目 次

	ページ
1 令和8年度 神奈川区編成予算案 総括	1
2 令和8年度 神奈川区自主期間事業 予算案について	3
3 令和8年度神奈川区自主企画事業（案）	4

1 令和8年度 神奈川区編成予算案 総括

(1) 区別総括表

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引
ア 自主企画事業費	106,714	106,415	299
イ 統合事務事業費	50,728	51,342	△ 614
(ア) 統合事務費	29,212	29,488	△ 276
(イ) 統合事業費	21,516	21,854	△ 338
ウ 区庁舎・区民利用施設管理費	694,199	673,872	20,327
合 計	851,641	831,629	20,012

(2) 内 訳

ア 自主企画事業費

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引	主な増減理由
3つの施策				
I いきいきと暮らせるまちづくり	20,338	22,622	△ 2,284	認知症月間での地域ケアプラザの取組を集中的に実施することによる、区の経費見直しに伴う高齢者支援事業の減等
II 魅力あふれるまちづくり	45,668	38,723	6,945	区制100周年記念事業プロモーション実施拡大に伴う神奈川区制100周年記念事業の増等
III 安心・安全なまちづくり	30,198	31,735	△ 1,537	防災ガイドのデータでの配付等への切替による印刷経費の削減に伴う地域防災力向上事業の減等
IV 信頼される区役所づくり	10,510	13,335	△ 2,825	こども家庭支援課等の窓口発券システムの切替完了に伴うかながわデジタル推進事業の減
合 計	106,714	106,415	299	(28事業)

イ 統合事務事業費

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引
統合事務費（生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費）	29,212	29,488	△ 276
統合事業費（8事業）	21,516	21,854	△ 338
広報よこはま発行业	10,830	11,062	△ 232
市民相談事業	1,405	1,419	△ 14
クリーンタウン横浜事業	3,199	3,231	△ 32
緊急時情報システム運用事業	891	899	△ 8
スポーツ推進委員支援事業	2,192	2,214	△ 22
青少年指導員事業費	2,206	2,228	△ 22
学校・家庭・地域連携事業	616	623	△ 7
健康づくり月間	177	178	△ 1
合 計	50,728	51,342	△ 614

ウ 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引
1 区庁舎	97,126	98,793	△ 1,667
2 土木事務所	11,443	10,283	1,160
3 公会堂	40,379	38,768	1,611
4 地区センター、集会所、スポーツ会館	227,511	217,043	10,468
5 ログハウス	9,658	9,216	442
6 区民文化センター	127,871	124,708	3,163
7 老人福祉センター	29,230	28,074	1,156
8 コミュニティハウス	57,723	56,667	1,056
9 スポーツセンター	50,452	52,436	△ 1,984
10 広場・遊び場	1,355	1,368	△ 13
11 国際交流ラウンジ	28,408	28,408	0
12 区庁舎・区民利用施設修繕費	13,043	8,108	4,935
合 計	694,199	673,872	20,327

2 令和8年度 神奈川区自主企画事業 予算案について

笑顔でつながる「神奈川区」
～地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます～

子育て世代の流入や高齢化の進展、脱炭素化に向けた行動変容など、社会情勢や環境の変化に的確に対応し、地域や関係団体、企業、大学等多様な主体との「つながり」を力に、協働によるまちづくりを進めます。令和9年のGREEN×EXPO 2027や区制100周年を契機に、将来も見据え、誰もが住みたい住み続けたいまちづくりを進めます。

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：106,714千円

目標達成に向けた3つの施策

I いきいきと暮らせるまちづくり

20,338千円

子育て中の方、高齢者の方、障害のある方、外国につながるのある方、すべての皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、きめ細かに行政サービスにつなげます。第5期地域福祉保健計画の推進、健康づくりを通じた健康寿命の延伸に取り組むとともに、親と子のたまり場「すくすくかめっ子」の運営支援を行います。

《重点事業》

かながわ子育てかめっ子支援事業、かながわ健康づくり応援事業、
地域福祉保健活動推進・支援事業

II 魅力あふれるまちづくり

45,668千円

つながり、支えあうことの良さを実感し、地域に愛着を感じるとともに、神奈川区の様々な魅力に触れ、「住みたい・住み続けたい」まちづくりを進めます。

脱炭素社会の形成に向けて、若年層をはじめ区民の環境意識を醸成し、環境負荷の軽減やまちの美化、花やみどりの創出などライフスタイルの行動変容を促す取組を重点的に実施します。区制100周年に向けた取組も進めます。

《重点事業》

かながわ脱炭素化推進事業、花と緑あふれるまちづくり事業、
チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり、神奈川区制100周年記念事業

III 安心・安全なまちづくり

30,198千円

安心・安全な暮らしの実現に向け、自助・共助・公助の防災や防犯の取組を進めます。地域防災力向上に向けて、共助の取組の中心となる「まちの防災組織」の活性化や地域防災拠点の訓練等の充実、あわせて、小中学校と連携し次代の担い手の育成に重点的に取り組みます。

《重点事業》

地域防災力向上事業

行政運営

IV 信頼される区役所づくり

10,510千円

行政サービスを正確・迅速に実現するため、区役所職員のスキルアップを図るとともに、来庁者が快適に区役所を利用できるよう環境整備を進めます。

チーム神奈川おもてなし向上事業、かながわデジタル推進事業

3 令和8年度 神奈川区自主企画事業（案）

I いきいきと暮らせるまちづくり 20,338千円（7年度 22,622千円）

1 かながわ子育てかめっ子支援事業 3,654千円（7年度 3,856千円） ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行います。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動を支援します。

(1) すくすくかめっ子事業 831千円（921千円）

地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、担い手同士の交流を行います。

ア 研修会（年1回）

イ 全体交流会（年1回）、
方面別交流会（4方面で開催予定）

ウ 訪問運営支援、情報発信



(2) 土曜日両親教室 717千円（635千円）【拡充】

妊婦とパートナーが子育てや夫婦のコミュニケーション等について学ぶ機会を提供します。父親の育児参加について啓発します。（月1回・定員22組から32組に拡大）



(3) 赤ちゃんふれあい学級 141千円（150千円）

区内中学校を対象に、思春期保健の出張授業と、地域子育て支援拠点かな一ちえの乳幼児ふれあい体験事業を行います。（2校予定）

(4) 養育ネットワーク事業 1,245千円（1,434千円）

0歳児とその養育者が集う場を設け、養育者のつながりをつくり、孤立化を予防します。また、育児の知識や情報の提供をし、育児不安の軽減を図ります。（年120回）

(5) 子育て情報提供事業 670千円（666千円）

ア 親子でおでかけマップ作成・配布（5,000部）

イ 誤飲予防啓発うちわの作成・配布（1,800部）

(6) 乳幼児健康診査事業等における保育事業 50千円（50千円）

乳幼児健診事業における一時保育等に対し、傷害保険に加入します。

2 かながわ健康づくり応援事業 2,291千円（7年度 2,194千円）☆重点事業

福祉保健課

区民の健康寿命の延伸に向け、誰もが身近な場所で健康づくりに取り組めるきっかけづくりを行います。生涯にわたる健康づくりにおいては、若年層からの継続的な取組が重要となります。地域関係団体等と連携しながら、区民が早期から健康づくりに取り組むことができるよう、年代ごとの健康課題に合わせた支援を切れ目なく展開し、とくに若年層の健康づくりに重点的に取り組みます。

(1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業 289千円（561千円）

- ア 親子が参加できるウォーキングイベント等の実施（年1回）
- イ よこはまウォーキングポイントを活用したウォーキングポイントイベントの開催（年2回：プレゼントキャンペーン、商店街ラリー）
- ウ 地域人材のウォーキング活動支援（年1回）



令和7年度プレゼントキャンペーン配布グッズ（サコッシュ）

(2) かながわ健康アップ事業 1,349千円（941千円）

- ア 4か月児健康診査時の健康チェック（年10回）【拡充】
働き・子育て世代の区民を対象に、血圧・骨密度等に加え、野菜摂取量、歯周病リスク検査の測定を新たに実施します。その他、専門職によるアドバイスや、各種健診・検診受診の啓発などを行います。



働き・子育て世代向け健康チェック

- イ 親子でかむかむ歯っけん教室（年4回）【新規】
学齢期の子と保護者に、う歯及び歯周病予防の講話、噛む力のチェック等を行い、早い時期から適切なセルフケアの習慣を身につけることにより、将来的なオーラルフレイル予防を推進します。
- ウ 野菜摂取量測定器を活用した生活習慣改善の啓発（通年）【新規】
野菜摂取量測定器を年間でリースし福祉保健センター内各課の様々な事業で活用します。区民の測定器体験機会を増やし、日頃から野菜を摂取することへの意識向上を図ります。また、年間通じて複数回測定できる機会を作ることで、生活習慣の改善と健康意識のさらなる向上につなげます。
- エ 両親教室での健康講話（年36回）
- オ 地域での歯科出前講座の開催（年4回）

(3) かなちゃん食育応援事業 653千円（692千円）

- ア 保育園、小中学校等との連携による食育推進
 - (ア) 栄養士、養護教諭等による食育連絡会（年2回）
 - (イ) 食育展の開催（年1回）
- イ 食育関連講座
 - (ア) 3歳児健康診査での食育ミニ講座（年24回）
 - (イ) 学校等との協働による出前食育講座（年2回）
 - (ウ) ヘルスマイト等との協働による食育の普及（年3回）



3歳児健康診査での食育ミニ講座

3 地域福祉保健活動推進・支援事業 4,053千円（7年度4,572千円） ☆重点事業

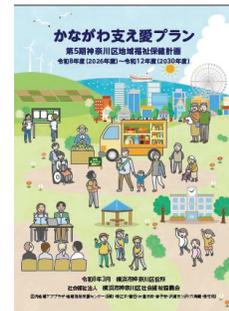
福祉保健課

誰もが健やかに安心して暮らしていける神奈川区を目指し、「かながわ支え愛プラン(神奈川区地域福祉保健計画)」を推進します。

令和8年度は、第5期計画スタートの年として、計画の周知を重点的に行います。より多くの区民の方に関心を持ってもらい、地域活動への参画意識の醸成や持続可能な地域活動を支援します。

(1) 第5期かながわ支え愛プランの普及啓発 (3,620千円)

- ア ホームページや地域情報誌などを活用した計画や地域活動の広報
 - イ 世代や活用場面に応じた普及啓発グッズの作成
 - ウ 区内関係機関の代表者などを委員とする
- 「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」を開催し、普及啓発の展開方法、推進に向けた課題を検討（年2回）



かながわ支え愛プラン
(第5期地域福祉保健計画)

【スケジュールイメージ】

計画サイクル	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(1)普及啓発	推進期				
(2)活動や取組の推進					
(3)振返り					
(4)次期プランの検討				検討・策定	

(2) 地域の福祉保健活動の推進・意識醸成支援 (433千円)

- ア 区・区社協・地域ケアプラザによるチームでの地区支援
- イ 地区別計画推進会議の開催支援
各地区の取組の達成度合いや課題を共有し、今後の地区活動の進め方について検討（地区ごとに開催：年2～3回程度）
- ウ 小中学校等での出前教室等の実施（年5校程度）
地域活動を伝え、地域と子どもたちの活動が繋がることを支援
- エ 地域活動の推進を目的とする研修の実施
区役所、区社協、地域ケアプラザ職員向け研修（年3回程度）
地区別計画推進会議への講師派遣（随時）
- オ 社会福祉大会の開催（2月）
全体発表会「みんながつながるまちのつどい」開催 地域活動を事例で紹介

【横浜市中期計画2026～2029（素案）より抜粋】

小中学校での出前教室を通じた地域福祉保健活動支援

地域福祉保健活動の重要性を伝え、こどもたちの声を計画に取り入れると共に、地域活動への参画を進めるため、小中学校での出前教室を行っています。

がい捨ての多いエリアにポスターを掲示する美化活動に取り組んだクラスや、地域ケアプラザ職員から高齢者支援を学び、モルックなどの健康支援活動に取り組んだクラス等、出前教室をきっかけに地域活動の活性化につながっています。



小学校での出前教室の様子

4 高齢者支援事業 1,770千円（7年度 3,019千円）

高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、健康維持に取り組む介護予防を進めます。また、認知症の人やその家族が自分らしく暮らしていけるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行います。

高齢者にとっても、あらゆる世代の方々にとっても住み続けたいまちとして、見守りのネットワークを各地域で強化し、地域包括ケアシステムを推進します。

(1) 介護予防普及啓発事業 795千円（972千円）

高齢化の進行と要介護認定者数のさらなる増加が予測される中、地域包括支援センターや元気づくりステーション等につながっていない方をはじめ、より多くの区民のみなさんが介護予防への関心を高めていけるよう取り組みます。

ア 民間企業のノウハウを活用したフレイル予防体験イベントを開催（年3回）

※ フレイルとは、「健康」と「要介護状態」の“中間の状態”です。

早く気づいて予防することで、状態の維持・改善が期待できます。

イ 介護予防普及啓発講演会を開催（年1回）

ウ かめ亀手ぬぐいサイズの普及・活用促進（600枚）



神奈川県オリジナルの手ぬぐい体操「かめ亀手ぬぐいサイズ」の様子

(2) 認知症高齢者支援事業 790千円（1,710千円）

認知症高齢者の介護者を支援するとともに、認知症になっても安心して暮らせるよう、地域の人材育成や認知症についての普及啓発を進めます。

ア 介護者のためのこころの相談室（年20回 2枠/回）【拡充】

イ チームオレンジの情報発信

認知症月間において理解促進や本人支援の取組を集中的に発信（9月・広報よこはま、SNS等による啓発）

ウ 神奈川区認知症高齢者みまもり協力店の普及・登録勧奨（随時）



認知症カフェ「いろいろ茶屋デニース片倉町店」

(3) 地域包括ケア推進事業 185千円（337千円）

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた神奈川県アクションプランを推進するため、引き続き、重点テーマである「見守り」の体制強化に向けて取り組みます。

※ 地域包括ケアシステムとは、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために、住まいを中心に、介護、医療、生活支援・介護予防が一体的に提供される日常生活圏域ごとの包括的な支援・サービスの提供体制のことです。

見守り体制強化に向けた地域ケア会議連絡会（年2回予定）



「地域ケア会議連絡会」の様子

5 障害者支援事業 1,338千円（7年度 1,543千円）

高齢・障害支援課

自立支援協議会や神奈川県障害者地域作業所連絡会等と連携しながら、障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、障害児者の理解を深める普及啓発や自主製品販売の促進に取り組みます。

(1) 障害者支援事業 1,338千円（1,543千円）

ア 障害者地域作業所等の活動支援

(ア) 活動場所でアレンジした生花の区役所窓口への配達委託（通年 48週）

(イ) 障害福祉サービス事業所等の自主製品販売支援（随時）

イ 市営バス車内デジタルサイネージを活用した障害者週間等での啓発（12月）



市営バス車内デジタルサイネージ

ウ 精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援のための支援技術向上研修（年1回）



6 かながわ安心子育て支援事業 1,998千円（7年度 2,351千円）

こども家庭支援課

育児に不安を抱える養育者等に対し、アウトリーチ型の支援の強化や、個別の訪問・面接の対応を充実させ、孤立化の防止や虐待の予防につなげます。また、職員一人ひとりのソーシャルワークを向上させ、複雑化していく事例への対応力を強化します。

(1) 児童虐待防止対策事業 320千円（893千円）

虐待リスクのある対象者への支援として、第1子への新生児訪問に加え、不安の強い第2子以降や乳幼児健康診査未受診者に対して、電話や家庭訪問などのきめ細やかな支援を実施する。（月3回）

(2) ファミリーサポート事業 338千円（323千円）

養育に不安を抱える方に対し、心理士による個別カウンセリングを行うことで保護者の育児不安を解消し、児童虐待を予防（月1回）

(3) ひとり親家庭相談支援事業 700千円（700千円）

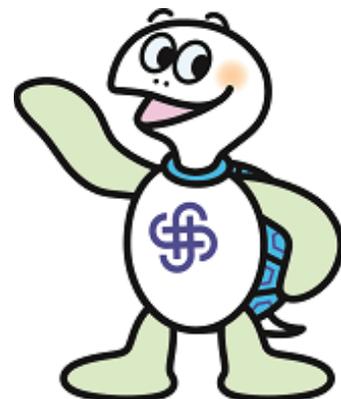
ひとり親世帯を対象に、経済的な困窮や子どもの教育など家庭全般の悩みを受け止める相談支援を実施（月6回）

(4) 虐待・DV対応に関わる対応力強化 640千円（435千円）

複雑で重篤な児童虐待事例やDV事例の増加に対応するため、スーパーバイザーを招き、専門職が対応に苦慮している事例の検討会や個別相談等を実施

ア 虐待・DV事例のスーパーバイズ（年3回）

イ DV・虐待事例の法律相談（年6回）



7 市立保育所地域交流事業 1,693千円（7年度 1,693千円）

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施します。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行います。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図ります。

(1) 食育推進事業 424千円（424千円）

入所児童の保護者を対象に給食試食（200食程度）、
地域の親子を対象にランチ交流（100食程度）を実施します。

(2) 地域交流事業 470千円（470千円）

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施します。

(3) 保育施設等情報パンフレット作成 546千円（546千円）

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成し配布します。
（10,000部）

(4) 保育園連携事業 73千円（73千円）

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、
合同園長会等を行い、保育の質の向上を図ります。（年4回）

(5) 防災意識向上推進事業 180千円（180千円）

新設園等に「てくてくまっち[®]※」を配布するとともに、市立保育所で開催するまち歩きに
民間園の職員を呼びかけ職員や未就学児等の防災意識強化を図ります。

※てくてくまっち[®]…神奈川区と横浜市立大学等が協働で開発した、乳幼児期の子どもと施設の職員が日常の活動の延長線上で防災・減災の視点からまちの資源と活用方法を学べる教材



令和5年度区民意識調査結果

地域で子どもを育てる世帯を支えるために重要なこと ※子育て世代の回答

（第1位）地域の中に子どもが安心して遊べる場所があること 62.0%



地域の親子を対象にしたランチ交流の様子

8 放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業 382千円（7年度 382千円）

こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブの現場職員等を対象に、各クラブの人材育成を図るとともに、クラブ相互の連携と安定運営を促進し、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを実現するため、各種研修を実施します。

(1) 放課後関連運営主体・職員等対象 382千円（382千円）

ア 集合研修

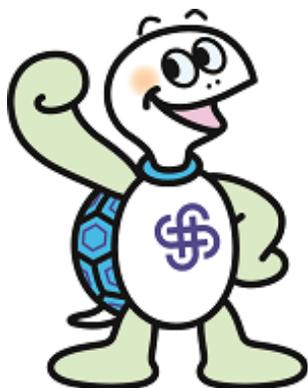
研修名	対象者	内容	実施時期
養育支援	現場職員	児童虐待等への対応	6月
救急救命	現場職員	救命処置の対応	10月
安全管理	現場職員 運営主体	災害時の対応・施設の安全管理	11月
障害児理解	現場職員	障害児等との関わり方	12月

イ 出前研修

研修名	対象者	内容	実施時期
安全管理、障害児理解、 コミュニケーション	現場職員 運営主体	災害時の対応・施設の安全管理、 障害児等との関わり方、 職員間の円滑なコミュニケー ションの図り方	9月～ 12月

《放課後児童健全育成事業クラブ数（令和8年1月末現在）》

放課後キッズクラブ18か所、放課後児童クラブ17か所



9 民生委員・児童委員活動支援事業 1,145千円（7年度 998千円）

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

(1) 民生委員・児童委員訪問活動支援 1055千円（998千円）

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための訪問活動用物品を配布

(2) 民生委員・児童委員担当区域図更新事業 90千円

民生委員・児童委員の訪問活動が円滑になるよう、以前に作成をした民生委員・児童委員担当区域図の内容更新・配布【新規】

10 ふれあい活動支援事業 2,014千円（7年度 2,014千円）

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援します。

(1) 研修の実施

ふれあい活動員を対象とする研修（11月頃）

(2) ふれあい活動支援

ア ふれあい活動支援補助金の交付（1地区最大10万円）

イ 活動周知パンフレットの増刷



全体研修会の様子

Ⅱ 魅力あふれるまちづくり 45,668千円（7年度 38,723千円）

11 かながわ脱炭素化推進事業 2,318千円（7年度 1,844千円）☆重点事業

区政推進課

「Zero Carbon Yokohamaの実現」に向けて、区民の皆様に環境行動の重要性を啓発するとともに、脱炭素ライフスタイルへの行動変容を促す取組を推進していきます。広く区民の皆様に向けた取組を進めることに加え、次代を担う子どもたちをはじめ若年層へ向けた取組を重点的に実施します。

(1) 脱炭素ライフスタイル啓発事業 2,142千円（1,616千円）

ア 子ども向け脱炭素啓発ワークショップイベントの実施
(2回)

神奈川大学との連携による啓発イベント参加枠の拡大

イ 区民まつりを活用した脱炭素啓発の実施【拡充】

環境関連のブースを集めたエリアの設置

ウ ECOパートナー協定に基づく横浜FCの主催試合での啓発ブース出展



区民まつりでの脱炭素啓発
ステージ企画の様子

●関連事業<再掲>

・花と緑あふれるまちづくり事業 【P.14参照】

公園愛護会と小学校が連携し、コンポストによる堆肥づくり、公園の花壇づくりを通じて、環境循環、みどりの大切さを子どもたちに伝えます。

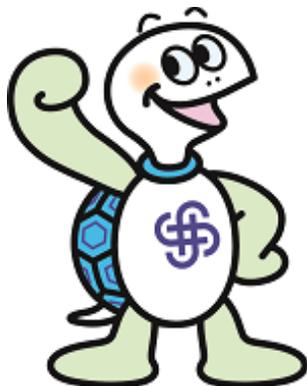
・チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 【P.15参照】

クリーンアップキャンペーンにおける大学等との連携推進や、小・中・高生等向けのゲーム性を取り入れた体験型イベントなどを実施し、若年層の環境意識を高めます。

(2) 地産地消推進事業 176千円（228千円）

ア 区内産野菜等の出張販売の実施（年3回）

イ 直売所の紹介冊子等の広報媒体を活用した周知



12 花と緑あふれるまちづくり事業

5,607千円（7年度 4,977千円）

☆重点事業

土木事務所

子育てしたいまちづくりやGREEN×EXPO 2027の開催に向け、道路・河川・公園・緑地等を管理するボランティア団体と協働し、区民が公園等で花や緑に触れる機会を増やすとともに、ボランティア団体の新たな担い手の確保、活動の活性化につなげます。

(1) 花苗・球根の配布 4,222千円（3,314千円）

区民が公園などの公共施設で花や緑に触れる機会を増やすため、ボランティア団体に花苗・球根を配布します。

ア 公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーターへの花苗・球根の配布【拡充】

（配布時期：5月、10月）

配布予定数：花苗10,000株、球根32,000球）



公園愛護会による花苗の植栽

(2) 公園及び愛護会活動PR 1,229千円（1,509千円）

公園の魅力や愛護会活動のPR、子どもと愛護会との協働による花壇づくり等を通じて、区民が公園を訪れ、花や緑に親しむ機会を増やすとともに、愛護会活動の新たな担い手確保につなげます。

ア 公園の魅力的なスポットや公園愛護会活動の写真撮影（4月～6月）及び公園マップ（ホームページ）への掲載（6月以降）

イ ごみから堆肥をつくる体験学習と愛護会との花壇づくりをセットにした小学校での出前授業（2愛護会程度）

ウ 地域住民と愛護会との協働による、イベントを組み合わせた樹林地の保全活動（2公園）



小学生と公園愛護会の協働による花壇づくり
（菅田みどりの丘公園）

(3) ボランティア団体の交流の促進 156千円（154千円）

公園愛護会の育成や活性化のため、花壇づくり等の講習や活動の情報交換、活動表彰等を行う交流会を実施（1回程度）

13 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 3,720千円（7年度 2,820千円）

☆重点事業 地域振興課

SDGsの達成と脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを推進します。ごみ・資源の分別徹底やプラスチック対策、食品ロス削減などの3Rを進めるとともに、地域・企業・学校などと協働し、清潔できれいなまちづくりを進めていきます。

(1) ヨコハマ3R啓発事業 375千円（425千円）

ごみ・資源の分別徹底、プラスチック対策、食品ロス削減など3Rの取組を推進します。

- ア 地域まつり等での啓発（年6回）
- イ 保育園や小学校での出前授業（年10回）
- ウ 広報よこはま区版・ホームページ等を活用した啓発（年6回）
- エ 功労者の表彰（6月）、フードドライブの推進（通年）、リユース文庫コーナーの管理運営（通年）

(2) 地域美化活動支援事業 3,330千円（2,380千円）

街の美化意識を高めるため、若年層への取組をはじめ、地域を中心に企業・学校・団体など多様な主体と協働しながら活動を推進します。

- ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援
清掃用具貸出（通年）、地域清掃への参加（年80回）
- イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」の実施（9月）
 - (ア) 地域、学校、事業者と協働で実施
 - (イ) 会場：東神奈川、新子安、神奈川大学横浜キャンパス、羽沢横浜国大駅広場
 - (ウ) 若い世代の意識醸成（大学生による会場運営、清掃参加）
- ウ 民間のノウハウを活用し、「ミッションクリア型清掃イベント」の実施【新規】
小・中・高生等向けにゲーム性を取り入れた体験型イベント
- エ 新子安駅周辺におけるポイ捨て防止・環境美化対策
「新子安駅周辺美化推進GROUP」による清掃活動や啓発を実施（年4回）
- オ 喫煙禁止地区（東神奈川駅周辺）における地域、企業と連携した啓発（年6回）
- カ 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発
片倉町駅（年4回）、大口駅（年6回）



新子安駅周辺美化推進GROUP



わが町かながわマナー違反一掃作戦

(3) 不法投棄防止対策事業 15千円（15千円）

- ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）
- イ 地域及び資源循環局神奈川事務所と連携した不法投棄への対応（通年）

14 神奈川県制100周年記念事業 5,120千円（7年度 1,200千円）☆重点事業

区政推進課

これまでの100年を振り返りながら、次の100年の区政の推進に向け、地域や区内企業・団体とともに区制の節目を祝います。また、同年に区制100周年を迎える4区や局との連携、GREEN×EXPO 2027（国際園芸博覧会）と連動した取組を進めます。

(1) 神奈川県制100周年記念事業 5,120千円（1,200千円）【拡充】

- ア 区の100年の歴史を振り返り、広報等による情報発信
- イ 「神奈川県制100周年記念事業実行委員会」によるPR活動への支援
- ウ 100周年記念デザインマンホール設置
- エ GREEN×EXPO 2027の開幕にも合わせ、100周年記念として植樹を実施

●区政100周年に関連する取組

- ・デジタル技術（VR/AR）を活用した神奈川台場のPR 【P. 18参照】
歴史継承イベント等を実施し、開国の舞台となった神奈川区、台場の歴史を区民向けに発信します。
- ・神奈川県魅力資産「わがまちかながわとっておき」活用事業 【P. 19参照】
区民参加による「わが町 かながわ とっておき」をリニューアルします。
- ・区の花チューリップいっぱい事業 【P. 18参照】
100周年を沢山のチューリップで彩るため、球根の配布対象を区内の小学校に加え、区内公立中学校に拡大します。あわせて区民向けには従来と異なる品種の球根を配布予定です。



15 地域力アップ推進事業 2,458千円（7年度 2,600千円）

区政推進課

地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため、人材を育て、地域活動を支援します。

(1) つながりまちづくり学校運営事業 1,498千円（1,528千円）

地域活動について学ぶ講座の開催や講座卒業後の支援を通じて、地域活動を担う人材の育成に取り組みます。

ア 現場体験を含むプログラムの実施（10月～）

(ア) 基礎講座及び地域活動団体への現場体験

(イ) つながりまちづくり学校交流会の開催

イ かながわ地域支援補助金事業

講座卒業生への補助金の交付（つながりまちづくり学校（旧地域づくり大学校）卒業生支援コース）



つながりまちづくり学校の様子

(2) 自治会町内会ICT支援事業 960千円（750千円）

自治会町内会等による活動情報の発信を支援することで、住民が地域活動に触れる機会を広げ、地域の新たな担い手の発掘につなげます。

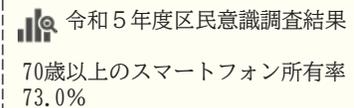
ア デジタルツール活用講座の開催（6月～・講座回数を3回へ拡大）【拡充】

自治会町内会等を対象としたデジタルツールによる地域課題の解決の可能性や効果的な情報発信について学ぶ講座

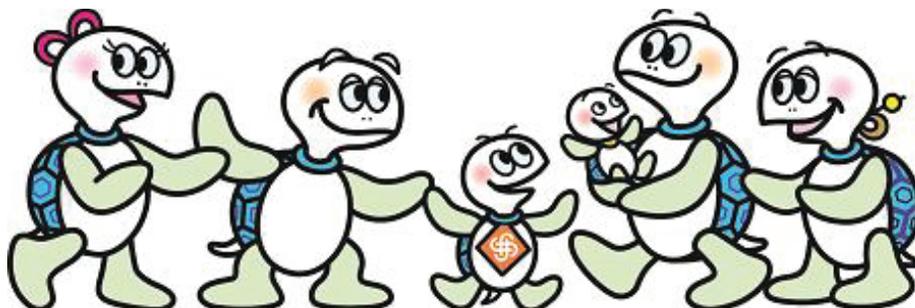
イ ICTアドバイザー派遣の実施（10月～）

(ア) 自治会町内会を対象としたアドバイザー派遣

(イ) デジタルツールの導入・活用を検討する団体に対する個別支援



自治会町内会ICT支援事業での勉強会の様子



16 情報・魅力発信事業 4,636千円（7年度 4,204千円）

区政推進課

区の実行や区政情報を、各種媒体を使って効果的に発信します。また、区内の様々な資源を活用し、神奈川区の魅力を創出・発信します。

(1) 情報発信事業 1,703千円（771千円）

- ア ホームページ、SNS、屋外看板や庁内モニター等、媒体の特性を活かした情報発信
- イ 区民生活マップの更新（3月）※隔年で更新

(2) 区のマスコットキャラクター活用事業 298千円（1,298千円）

- ア 「かめ太郎」の着ぐるみ貸出・イラスト(素材)の提供
- イ 区の魅力PR用物品の制作



軽量で通気性の良いバルーンタイプの着ぐるみ(令和7年導入)

(3) 区の花チューリップいっぱい事業 1,545千円（1,045千円）

- ア 区の花「チューリップ」写生画展
区内小学生対象、受賞作品を区内公共施設等で展示（8月）
- イ 区内公立中学校及び私立小学校にチューリップの球根を配布
予定（10月）【拡充】

※公立小学校には、みどり環境局予算で実施。

- ウ 区民向けに球根を配布・育成してもらい、区の花チューリップの普及啓発を実施
（10～11月予定）【拡充】

★ イ及びウのチューリップは、区制100周年である令和9年春に開花予定。100周年記念事業の一環として、球根の配布数拡大や、従来とは異なる品種の採用を予定している。

(4) 歴史活用事業 1,090千円（1,090千円）

- ア 旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントの実施（11月）
- イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報
（通年）
- ウ 歴史の道ガイドパネル等の補修（通年）
- エ デジタル技術（VR/AR）を活用した神奈川台場のPR

17 まちづくり推進事業 3,772千円（7年度 3,666千円）

区政推進課

各地域の特性や課題、ニーズを把握し、魅力あるまちづくりを進め、「住みたい」「住み続けたい」まちを実現します。

(1) 企画調整・まちづくり事業 1,000千円（1,000千円）

「住みたい」「住み続けたい」まちづくりの施策に活かしていくことを目的に、これまでの調査データの分析結果をふまえた区の課題を検討します。

(2) 歩行者ネットワーク強化事業 2,772千円（2,666千円）

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行います。

18 わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,930千円(7年度 1,930千円)

地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、コミュニティの活性化を図ります。

商店街ラリー事業 1,930千円(1,930千円)

GREEN×EXPO 2027開催にちなんで、「GREEN」にまつわる商品を扱う店舗を対象として、スタンプラリー(神奈川県商店街GREENラリー)を開催し、商店街の魅力発信を行います。併せて、神奈川県商店街キャラクターを使った「かごにゃんを探せ!」も同時に実施します。



冊子・ポスター
(令和7年度商店街ラリー)

19 神奈川県資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

2,220千円(7年度 1,920千円)

地域振興課

区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、神奈川区の魅力資産をまとめた「わが町 かながわ とっておき」を活用した事業を実施します。

(1) わが町かながわとっておき実行委員会補助 1,800千円(1,500千円)

神奈川区の魅力の発信や若い世代の地域への関心、愛着を深めるイベント開催など、地域の方々に組織する「わが町 かながわ とっておき実行委員会」が行う事業を支援します。

- ア 区民参加による「わが町 かながわ とっておき」のリニューアル
- イ 神奈川区への愛着が深まるテーマによるコンテスト等を実施
- ウ 専用ホームページによる魅力発信

(2) 「わが町かながわとっておき」写真コンテスト 420千円(420千円)

「神奈川県らしい」「神奈川県ならではの」魅力をPRする写真コンテストを実施します。また、GREEN×EXPO 2027開催に向けて花・緑部門も継続して募集。さらに、コンテスト入賞作品を区内各所で巡回展示します。(8月~3月)

20 神奈川県民まつり事業 4,000千円（7年度 4,000千円）

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって企画・運営する神奈川県民まつりの開催を支援します。また、区民まつりの場を活用して、脱炭素、GREEN×EXPO 2027の機運醸成等にも取り組みます。

神奈川県民まつり 4,000千円（4,000千円）

ア 実行委員会や各運営部会との連絡調整

イ 会場等の利用支援

ウ 開催日：令和8年10月11日（日）午前10時から午後3時30分まで

エ 開催内容：各種団体によるブース出店（物販、飲食販売、ゲーム、相談ブース等）、ステージプログラム

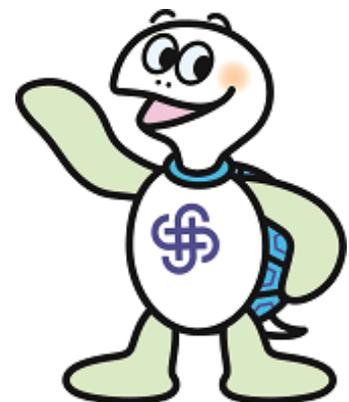
※会場エリアを横浜銀行アイスアリーナ側まで拡大予定



開会式の様子（令和7年度）



ブース出店の様子（令和7年度）



21 区民活動・生涯学習支援事業 6,587千円（7年度 6,188千円）

地域振興課

区民活動支援センターは区域の中間支援組織として、地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みます。また、区民が自発的に行う文化・スポーツ・青少年育成等の活動や生涯学習を支援し、もって地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指します。

(1) 区民活動支援センター事業 2,484千円（2,444千円）

- ア 地域活動に関わる個人・団体等からの相談対応
- イ センター登録者・団体と地域をつなぐ為の場の提供
- ウ ホームページやSNS、広報よこはま区版を活用した情報発信
- エ 区内区民利用施設（35施設）を対象とした地域施設間連携会議の開催（年2回）
- オ かながわ湊フェスタ開催支援（11月）

(2) 文化・読書活動支援事業 1,489千円（1,220千円）

- ア 文化協会支援
文化協会が実施する事業への支援（8事業）
- イ 読書活動推進【拡充】
 - (ア) 読書に親しむきっかけとなる講演会等の開催（1月）
 - (イ) 布えほんづくりワークショップの開催（8月）
 - (ウ) 神奈川区民の推薦図書キャンペーン（1～3月）

第三次神奈川区読書活動推進目標

目標1 未来を担う 子どもたちの 読書活動の推進	目標2 あらゆる人が 読書に親しみ 楽しむ機会の充実	目標3 読書活動の 拠点の強化と 連携促進
------------------------------------------	--------------------------------------------	---------------------------------------

(3) スポーツ振興事業 1,380千円（1,110千円）

- ア 区スポーツ協会支援
種目別団体の活動支援（団体数15、事業数71）
- イ トップスポーツチームとの連携【拡充】
区民デイの開催（年4回）

令和5年度区民意識調査結果

地域で参加してみたい活動
（第1位）スポーツや健康づくりの
活動への参加や振興 14.5%

(4) 生涯学級事業 872千円（872千円）

- ア 生涯学級運営委員会の企画運営による区民向け連続講座
（3学級）
- イ 生涯学級運営委員会対象のスキルアップ講座・交流会
（年2回）



令和7年度生涯学級連続講座
「チアアップ～ひとむすび～」

(5) 青少年育成事業 362千円（542千円）

- ア 子ども会育成連絡協議会支援
子ども会育成連絡協議会が実施する事業や研修への支援
- イ B-SKY FES支援
青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント「B-SKY FES」の開催支援（9月）

22 地域活動支援事業 3,091千円（7年度 3,160千円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行います。

(1) 自治会町内会長感謝会 1,493千円（1,347千円）

- ア 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施（2月）
- イ 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施（2月）

(2) 自治会町内会活動支援事業 1,598千円（1,813千円）

- ア 自治会町内会配送業務
各自治会町内会に月1回（8月、12月を除く）会長宛の資料や掲出依頼物などを配送
- イ 自治会町内会加入促進事業
 - (ア) 加入促進のチラシや啓発グッズを転入者セットとして配布、また地区連合の自主イベント等における参加者配布用に提供
 - (イ) 自治会町内会加入促進として電子申請システムを活用した支援

23 動物適正飼育推進事業 209千円（7年度 214千円）

生活衛生課

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行います。

(1) 犬猫の適正飼育啓発事業 154千円（159千円）

- ア 飼い主の知識習得及びマナー向上を目的とした適正飼育方法の啓発
犬のマナープレート等を活用した指導、飼い猫の屋内飼育や不妊去勢手術実施の指導
啓発チラシ：800枚、マナープレート：200枚、啓発用トイレパック：1,000パック
- イ 福祉関連部署との連携による多頭飼育問題への早期発見や不適正飼育の予防
- ウ 広報よこはま区版等での啓発

(2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業 55千円（55千円）

- ア 飼い主のいない猫によるトラブル解決の支援
猫を起因とするトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等に対して行う超音波式侵入防止器の貸出や地域猫活動としての不妊去勢手術等の支援
- イ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援
- ウ 広報よこはま区版等での啓発

 令和5年度区民意識調査結果
地域猫の認知度 34.7%

Ⅲ 安心・安全なまちづくり 30,198千円（7年度 31,735千円）

24 地域防災力向上事業

21,824千円（7年度 23,200千円）

☆重点事業

総務課

福祉保健課

高齢・障害支援課

生活衛生課

区民が防災・減災を自らのこととして捉え、震災や風水害に備えて適切な行動がとれるよう、横浜市地震防災戦略も踏まえ自助・共助・公助に係る取組を推進します。

あわせて、地域、医療機関、民間事業者等との連携により、地域防災力の向上を図ります。

(1) 地域防災力の強化 16,115千円（16,070千円）

ア 自助の推進

- (ア) SNS等を活用した防災情報の発信
- (イ) 「自分でつくるmy防災マップ」配布等
- (ウ) 防災アドバイザー派遣事業

イ 共助の推進【拡充】

町の防災組織の活性化及び地域防災拠点の運営力の強化を図るため、共助の取組を後押しします。

(ア) 共助推進事業

補助メニューを拡充し、自主避難所の確保や安否確認システムアプリの導入を追加



防災情報をXにて発信

【参考】「神奈川県共助推進事業」補助金 概要

町の防災組織が行う地域防災上の課題解決に向けた取組に対し費用の一部を補助

■対象経費：防災資機材等の購入、防災施設見学等

■補助率：3分の2

■補助上限額：15万円または25万円※

※過去3年間で補助金を使用したことがある団体は上限15万円。

それ以外の団体は25万円。

(イ) 地域防災拠点の機能強化

発災時にスムーズな拠点開設ができるよう、開設時の手順書となる「開設アクションカード」を制作

ウ 次世代につなぐ防災

次世代の担い手育成として、小中学校と連携し、防災出前講座や体験型学習を行い子どもへの教育と同時に子育て世代への啓発を進めます。

(ア) 防災教育による担い手育成

- a 小学生を対象に避難所生活の模擬体験ができる「防災デイキャンプ」を実施
- b 中学生にはワークショップ型の防災出前授業を実施



防災デイキャンプ
(小学生向け)



ワークショップ型出前講座
(中学生向け)

(イ) 子育て世代に向けた啓発の取組

a 乳幼児子育て世帯向け家具転倒防止普及啓発事業

出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配付

b 地域育児教室と連携した防災啓発

区内12か所で実施している地域育児教室を活用し、乳幼児向けの防災備蓄の重要性や在宅避難に向けた自宅の防災対策について啓発を実施

(2) 区役所災害対応力の強化 4,295千円 (4,731千円)

ア 職員向け訓練・研修

(ア) 転入職員向け研修、即応班研修 (4月)

(イ) 風水害避難場所運営訓練 (6月)

(ウ) 地域防災拠点参与等研修 (6月)

(エ) 地域防災拠点動員者向け研修 (8月)

(オ) 初動対応及び区災害対策本部運営訓練 (9月・1月)

(カ) 区本部各班訓練

イ 区本部運営に必要な物資やマニュアルの整備



区災害対策本部運営訓練

(3) 災害医療の体制の確立 618千円 (401千円)

ア 災害医療に係る機関や団体との連携

(ア) 神奈川区災害医療連絡会議 (9月、12月)

(医療救護隊の効果的な活動のための検討、マニュアルの見直しなど)

(イ) 医療救護隊の活動に必要な物資の整備

イ 災害医療訓練

(ア) 区災害医療訓練 (11月)

(イ) 医師会、医療機関との情報受伝達訓練 (4回/年)

(ウ) 災害医療のぼり旗掲出訓練 (11月)

協力機関：区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会等

ウ 普及啓発

(ア) 地域防災拠点における災害医療講話

(イ) 広報よこはま区版で横浜市災害支援ナース登録勸奨 (11月)

(4) 災害時要援護者支援 (取組支援) 252千円 (252千円)

ア 新規協定締結の促進 <令和7年12月末現在 名簿提供団体：113団体>

(ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結 (随時)

(イ) 名簿の年次更新及び個人情報保護と活用に関する研修会 (9月)

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付 (随時)

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成 (世帯数により上限20千円～80千円)

(5) 福祉避難所関連事業 215千円 (969千円)

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザ等）の安定した運営を推進します。

《令和7年12月末現在 福祉避難所 協定締結数：25施設》

- ア 福祉避難所開設・運営訓練（11月）
- イ 福祉避難所連絡会（2月）
- ウ 福祉避難所情報共有システム情報受伝達訓練（2月）



福祉避難所開設・運営訓練

(6) 災害時のペット対策 329千円 (354千円)

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援

(ア) 地域防災拠点運営委員会総会にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発

(イ) 「災害時のペット対策～ペットとの同行避難対応ガイドライン～」を基に、地域防災拠点等における災害時ペット対策推進支援や一時飼育場所運営に係るルールづくり等を支援

(ウ) 防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発

(ア) 広報よこはま区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備等について周知

(イ) 地域防災拠点や区民まつり等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施

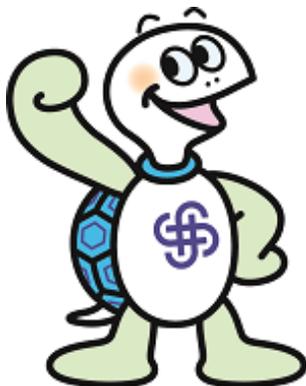
(ウ) 日ごろからの備えとして、「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」及び「神奈川区動物病院マップ」を区役所窓口等で配布



地域防災拠点でのパネル展示・説明及びペット同行避難訓練



神奈川区動物病院マップ (R7.10改訂)



25 神奈川県防犯対策事業 3,540千円（7年度 3,801千円）

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等関係機関と連携を密に図りながら、犯罪発生状況に応じた情報の提供及び啓発活動などの防犯対策を推進します。

(1) 住みよいまちづくり活動助成事業 2,540千円（2,501千円）

地域による安全で安心なまちづくり活動を推進するため、21地区連合自治会町内会が行う防犯活動・青少年の健全育成・3R推進活動等に対して助成金を交付（7月～9月）

(2) 刑法犯罪被害・特殊詐欺被害防止啓発事業 1,000千円（1,300千円）

- ア 特殊詐欺等防犯啓発情報のメール配信（通年）
- イ 広報よこはま区版等による防犯啓発（予定：7月、8月、12月、2月）
（7月：夏休み子ども防犯啓発、8月：闇バイト、12月：詐欺・刑法犯罪、2月：特殊詐欺）
- ウ 地域での防犯活動に必要な物品（帽子・ベスト・のぼり旗等）の貸与・配布（通年）
- エ 防犯キャンペーン（10月）
- オ 自治会町内会等への防犯啓発チラシ・物品配布（通年）
- カ その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発（通年）



啓発チラシ



防犯啓発のぼり旗



神奈川県地域安全のつどい

神奈川県内における安全な道路交通環境の実現を目指して、地域、警察、関係団体等と連携し、交通事故発生件数の減少に向けた啓発・対策を行います。

(1) 交通安全啓発事業 917千円（717千円）

- ア 交通安全教室啓発（4月～6月、11月）
希望する小・中学校等対象に実施（実施予定：小学校20校、中学校2校）
- イ 交通安全チラシ及び啓発物品の購入・配布（通年）
- ウ 広報よこはま神奈川県版を活用した啓発（4、5、7、12月）
- エ 警察と連携した交通安全啓発キャンペーン（通年）



スケアードストレイトでの交通安全教室



小学校での交通安全教室

(2) 児童通学路整備事業 3,466千円（3,466千円）

- ア 各小学校で実施している協議会の助成
（交付予定：17団体 各20千円）
スクールゾーン対策協議会（7月～10月）
- イ 通学路内の路面標示の補修（通年）



通学路 路面標示の整備

(3) 自転車等放置防止推進協議会助成事業 400千円（400千円）

- 区内主要駅周辺での啓発活動を実施する協議会
に対する活動費助成
（4月～6月 交付予定：8団体 各50千円）

(4) 神奈川県交通安全対策協議会事業 51千円（51千円）

- ア 神奈川県交通安全対策協議会開催（5月）
- イ 交通安全功労者表彰
（表彰予定 個人：5名・団体：5団体）



交通安全功労者表彰

信頼される区役所づくり 10,510千円（7年度13,335千円）

27 かながわデジタル推進事業 3,213千円（7年度 4,344千円）

総務課

神奈川区の窓口におけるデジタル化の推進により、来庁者の利便性向上や混雑緩和を図ります。

(1) 区役所デジタル化推進 3,213千円（4,344千円）

- ア 窓口混雑状況や呼出番号をWeb上で確認できるシステムの保守・運用
- イ 来庁者用のWi-Fi運用
- ウ 区政広報用デジタルサイネージの設置等

28 チーム神奈川おもてなし向上事業 7,297千円（7年度 8,991千円）

総務課

横浜市に求められる行政サービスの変化に対し「市民目線」で「スピード感」を持って対応できる人材を育成し、区民サービスの向上を目指します。また、来庁者が利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺的环境整備を進めます。

(1) 人材育成等推進事業 565千円（405千円）

- ア 転入責任職、新採用・転入者研修（4月）
- イ 職員向けスキルアップ研修（年3回予定）

(2) 人権啓発事業 600千円（600千円）

- ア 区職員向け研修
 - (ア) 責任職研修（全体：2回、グループ：各3回）
 - (イ) 職員対象研修（年7回程度）
- イ 区民向け・関係団体向け講演会（年1回）

(3) 来庁者の利便性向上 6,020千円（7,986千円）

- ア 庁舎周辺の清掃や、窓口及び待合スペース等の環境改善
- イ 区の様々な情報をまとめた転入者セットの配付

(4) 区民顕彰事業 112千円

スポーツ、芸術、文化等の分野において、顕著な功績があった方へ荣誉賞を贈ります。

4 自主企画事業以外で実施する主な事業

○こども青少年局予算

① こんには赤ちゃん訪問事業（こども青少年局再配当）

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、まちの子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を親子に勧めています。

② 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局再配当）

未就学児とその保護者および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かなーちえ」「かなーちえサテライト」（NPO法人 親がめが運営）があります。

③ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局再配当）

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めます。

④ DV対策事業（こども青少年再配当）

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行います。

⑤ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局再配当）

養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等を対象に食事、歯磨き、掃除などの生活習慣の習得及び学習支援を実施します。

⑥ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局再配当）

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やします。

⑦ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局再配当）

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

⑧ 妊婦等包括相談支援事業（こども青少年局事業）

妊娠期から出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行います。また、出産後はアンケートにより、支援が必要な方に母子保健コーディネーターを中心に電話や訪問等を行います。

⑨ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

待機児童解消に向け、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行います。

⑩ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を実施します。

○健康福祉局予算

⑪ 自殺対策事業（健康福祉局再配当）

自殺対策強化月間（9月、3月）を中心に、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組みます。

⑫ 横浜市チームオレンジ事業（健康福祉局事業）

地域ケアプラザが中心となってコーディネートを行い、認知症の人や家族の希望や願いをもとに地域における取組を進めます。各地域でチームオレンジが増えることにより、認知症の人がさまざまな活動に参画する機会を拡大して、役割と生きがいを持って、安心して自分らしく暮らせる地域づくりにつなげます。

※チームオレンジとは、認知症の人や家族の希望や願い、困りごとなどの声をもとに、その実現や解決に向けた取組を、認知症の人や家族とともに地域住民や団体、企業、関係機関等が連携して進める「本人支援」の活動です。

⑬ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、訪問や相談など地域における見守り活動等につなげます。

《令和7年度名簿に新たに掲載（追加）された方》

新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 1,337人

新たな75歳以上の高齢者のみ（2人以上）世帯の高齢者 1,468人 計2,805人

※これまで訪問は、名簿に新たに追加された75歳以上のみの（単身・複数）世帯の方を対象としていましたが、令和7年度は、試行的に訪問対象年齢を引き上げ、名簿のうち新たに掲載された80歳以上のみの世帯の方326人に対して217人の訪問面談を行いました。（名簿は75歳以上のみの世帯の方の情報を掲載）

○経済局予算

⑭ 商店街活性化イベント助成事業（経済局再配当）

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

⑮ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）

商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図ります。

○みどり環境局予算

⑯ 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業（みどり環境局再配当）

チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望する公立小学校に球根を配布します。

⑰ 公園再整備・施設改良事業（みどり環境局再配当）

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和8年度は大口西公園で実施を予定しています。

また、老朽化した施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。令和8年度は、幸ヶ谷公園、滝ノ川公園、入江町公園などで実施を予定しています。

○建築局

⑱ 管理不足空家等の防止・解消対策の推進（建築局事業）

令和6年3月に「第3期横浜市空家等対策計画」の策定をしており、①空家化の予防、②空家等の流通・活用促進、③管理不足空家等の防止・解消の3つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めます。

令和7年度は、自身での管理が困難な所有者向けに、空家の管理代行事業者を募集し、リストにしてホームページ上で公開する制度を開始しました。

令和8年度は、近隣の空家等に関する相談を受け付ける窓口の委託化を進めます。

○道路局予算

⑲ 道路維持修繕事業（道路局再配当）

三枚町（主要地方道横浜生田線）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、安全性の確保や交通の円滑化、騒音振動の解消を図ります。

⑳ 道路改良事業（道路局再配当）、都市計画道路整備事業（道路局事業）

片倉六角橋線（神大寺地区）については、令和7年度内に全ての用地取得が完了しました。8年度は電柱などの占用物の移設や暫定歩道の整備を行い、9年度より本体工事に着手し、早期完成を目指します。

また、六角橋線（六角橋地区）については、令和7年10月に、関連する地域にお住まいの皆様を対象とした、事業に関する説明会を開催しました。8年度は、道路整備に必要な用地について、地権者の皆様と用地交渉を行うために、用地の測量作業を進めます。

㉑ 横浜市シェアサイクル事業（道路局事業）

2025（令和7）年度から市内全域を事業区域とする「横浜市シェアサイクル事業」を開始しています。移動の利便性向上、都市の活性化、脱炭素社会の形成、交通安全の推進の4つを事業の目的とし公民連携で事業を推進します。

○都市整備局

㉒ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

平成30年度に土地区画整理組合が設立認可され、埋立工事を含めた区画整理工事を進めてきています。

令和7年度は、新設橋梁の架設、鉄道施設の撤去・移設、地区外の踏切拡幅などを進めてきました。

令和8年度は、地区内の道路整備や隣接する踏切の拡幅工事など引き続き基盤整備を進めていきます。

㉓ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

地震火災における被害の軽減に向け、延焼の危険性が特に高い地域において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部補助などを行っています。また、六角橋商店街地区及び六角橋北町地区等における協働による防災まちづくり活動の支援を継続して進めます。さらに、令和7年3月に刷新した「横浜市地震防災戦略」に連動し、地震火災からの逃げやすさを向上させる補助の新設や、地域と協働でつくる防災型公園の整備（六角橋六丁目公園）、自治会等が整備する防災広場や防災施設への補助の対象地域を全市に拡大するなど、地震火災対策にかかる取組をより一層強化していきます。

○教育委員会

⑭ 青木小学校の不足教室対策（教育委員会事務局事業）

青木小学校は、通学区域内におけるマンション開発の影響で児童が増加しており、教室不足が見込まれています。施設面や、通学区域の見直しといった具体的な対応策について、「青木小学校」学校規模適正化等検討部会において、検討を行っています。

検討部会では、通学区域変更を実施し、青木小学校における教室不足への具体的な対応策とする方向性で意見がまとまりました。

今後は、検討部会としての「意見書」の取りまとめに向けて検討していきます。

○下水道河川局

⑮ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（下水道河川局事業）

災害時に必要な物資等を輸送するための緊急輸送路などに敷設された下水道管の耐震化を進めています。令和8年度は国道1号などで耐震化を予定しています。

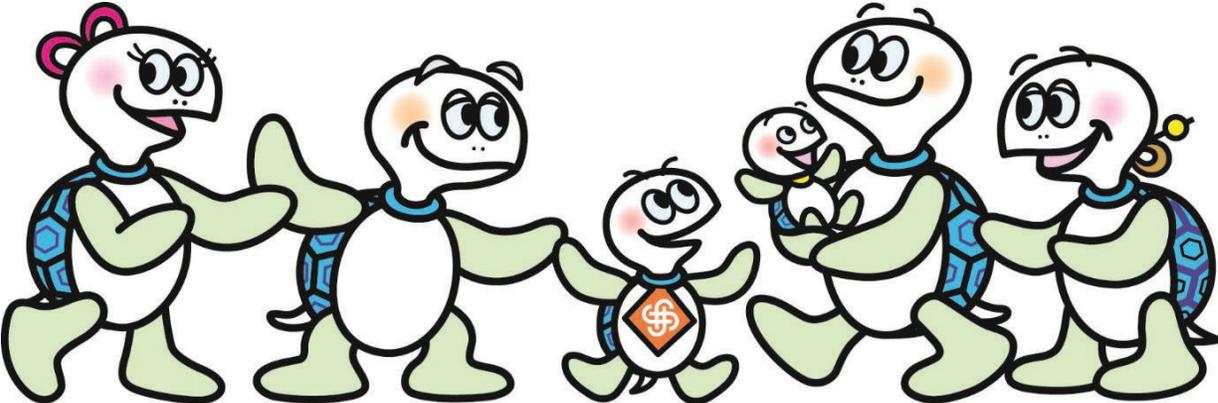
下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、全市域を対象とした調査結果等に基づき、老朽化の進行度や発見した不具合の内容に応じて計画的に、下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。

令和8年度は松本町から反町、神奈川から栄町、入江町から神之木町、鶴屋町周辺などで工事を実施します。

⑯ 横浜駅周辺地区における下水道整備（下水道河川局事業）

市内で最も都市機能が発達し集積している横浜駅周辺地区（エキサイトよこはま22）では、目標整備水準を時間降雨量約74mm（30年に1回の降雨）に引き上げ、下水道施設の整備を進めます。

引き続き、令和8年度は神奈川公園等でエキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線の整備を進めます。また、鶴屋町周辺で枝線の能力を増強する工事及び、金港町、栄町周辺で試掘工事を実施します。



令和8年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
神奈川	1	コットンハーバー地区における暫定通路用地の取得・土地使用料の負担	1 当該通路の用地取得 2 用地を取得するまでの間の土地使用料を負担	都市整備局	△
				経済局	—
神奈川	2	新子安駅周辺の美化・環境改善	1 喫煙禁止地区指定（美化重点地区指定含む） 2 密閉型喫煙所の設置 3 新子安駅周辺への美化強化（清掃、喫煙スポットパトロール回数増加）	資源循環局	△
神奈川	3	医療的ケアが必要になった保育所等の在園児にかかる利用料の減免制度の創設	在園児に医療的ケアが必要だと判明してから園の利用を再開するまでの保育所利用料の減免制度の創設	こども青少年局	○